

福島市小鳥の森通信

しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう 111

キビタキ オス

分類 スズメ目 ヒタキ科

大きさ 13.5cm スズメより少し小さい

なき声 ピッ、ピッ、ピッル
オーシーツ、オーシーツ小鳥の森でよく見られる時期
4月下旬～6月小鳥の森で見られる場所
・カワセミの小径のコナラ林など

背中と頭は黒色



おなかと目の上は黄色～オレンジ色

はしもと みきさん がかいてくれました。

5月 いきもの森予報

小鳥の森のチョウ・トンボに注目！

小鳥の森が緑の葉におおわれはじめる5月。虫たちの動きも活発になります。冬の間、幼虫やさなぎの形で過ごしていた虫たちが、春のあたたかな日差しをうけて、一斉に成虫（おとな）になります。特に目立つのがチョウとトンボです。

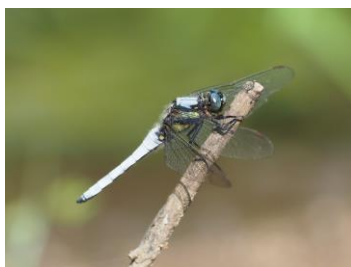
チョウのなかまでは、コミスジ、クロアゲハ、カラスアゲハ、キアゲハ、ヤマトシジミなど。

トンボのなかまでは、シオヤトンボ、ニホンカワトンボ、コサナエ、クロスジギンヤンマなど。

チョウを探すコツは、日当たりの良い場所に出かけること。トンボを探すコツは、池や小さな流れに出かけること。ただし、これからの季節は目のまわりに小さなアブの仲間が近よってきますので、防虫ネットなどをかぶると快適に観察できますよ。



キアゲハ



シオヤトンボ



ニホンカワトンボ

鳥の世界は、子育て真っ最中！

4月に入り、小鳥の森では鳥の子育てが始まりました。

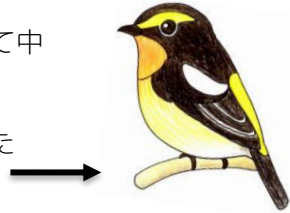
ネイチャーセンター建物の壁につけてある「巣箱」では、3月13日から「ヤマガラ」の子育てが続行中です。昨年は3月12日がスタートでしたから、ほぼ同じタイミングで進んでいます。4月15日には、5羽のヒナが誕生。毎日ヤマガラの夫婦がエサを運んでいます。4月20日には福島県の鳥「キビタキ」が南の国から渡ってきました。今年もきっと、森の中で巣を作ってくれることでしょう。ますますにぎやかさを増す小鳥の森でした。!



巣箱の中で子育て中の「ヤマガラ」



南からやってきた
キビタキ（オス）



スタッフだより

カエルの大合唱

4月～6月ごろ小鳥の森の水辺からは「コロコ、コロコ・・・」という声が聞こえてきます。それも1匹ではなく何匹も。声の正体はシュレーゲルアオガエルというアオガエルのなかまです。

みなさんはカエルが鳴く理由を知っていますか？それはセミや鳥たちと同じくメスを呼ぶためです。よく観察してみると1匹のオスが鳴きだすと、他のオスもいっせいに鳴きだします。どのオスもメスにアピールしようと大きな声で競い合って鳴くため、大合唱になるのです。また、それぞれが同じタイミングで鳴いてしまうと、自分の声が聞きにくくなってしまいますので、他の声と重ならないように鳴いているのもにぎやかな大合唱になる理由の一つです。



(レンジャー ますぶち しょうた)

お知らせとお願い

小鳥の森「シジューカラの小径」では、今年3月～6月の間、森の若がえりを目的とした樹木の伐採と作業道作りの事業（ふくしま森林再生事業）を行っています。一定の年齢に達したコナラやヤマザクラなどを切り、次の世代の樹木が生えてくるための手入れになります。作業中の安全を確保するため、「シジューカラの小径」の一部を立ち入り禁止区域に指定しています。団体利用などをお考えの際は、ご面倒でも事前にご相談ください。ご理解とご協力をお願いいたします。

<事業のようす>



重機による森林整備



通行止め区間

*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧になれます。

*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>